

2008年度国際地学オリンピック日本委員会の活動状況

Report2008 of Japan Earth Science Olympiad Committee

瀧上 豊 [1]; 久田 健一郎 [2]

Yutaka Takigami[1]; Ken-ichiro Hisada[2]

[1] 関東学園大学; [2] 筑波大・生命環境

[1] Kanto Gakuen Univ.; [2] Grad. School Life and Envir., Univ. Tsukuba

<http://www.jeso.jp/>

2008年度は、国際地学オリンピック日本委員会の活動の実質的初年度に当たる。本委員会の基盤整備と今後の活動の方向付けを行った。

1) 第2回国際地学オリンピック（フィリピン大会）への参加

1次選抜は2008年3月に、2次選抜は同年5月に実施され、申込者数357名から21名そして4名が選抜された。2008年8月29 - 30日の一泊研修のあと8月31日 - 9月8日に第2回国際地学オリンピック・フィリピン大会に参加した。銀3名、銅1名の結果であった。なお、日本の男子1名が固体地球惑星部門で1位、女子1名がベストフィールドワーク賞を受賞した。

2) 第3回国際地学オリンピック（台湾大会）国内選抜の実施

10月1日から12月10日まで募集を行い、全国の高等学校や各県の教育委員会へのチラシの配布、一般科学雑誌への広告の掲載を行った。一次選抜試験（第1回日本地学オリンピック）は2008年12月21日に、申込者数689名当日参加者587名（85高校51会場（19大学32高校））で実施された。その結果32名（チャレンジ高3生4名を含む）が2月2日に選抜され、2009年3月29日（東京大学）の二次選抜試験に臨む。

3) NPO法人化

NPO法人化にあたっては、本委員会の5名が創設時の理事となり、2008年11月に東京都に申請した。2009年2月には登記の予定。

4) 今後の予定

2009年7月下旬 国内研修（箱根予定）

2009年9月14日 - 22日 第3回国際地学オリンピック（台湾大会）

2009年12月20日 第2回日本地学オリンピック予選

（第3回国際地学オリンピック第一次予選）

2010年3月28日 第2回日本地学オリンピック大会（とする？）本選

（第3回国際地学オリンピック第二次予選）

2010年8 - 9月 第4回国際地学オリンピック（インドネシア大会）

今後とも皆様のご支援ご協力をお願いします。